

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 45	提案機関名 県西地域県政総合センター
要望問題名 県西地域の果樹地帯における新たな経営モデルの検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 当所では、小田原市から湯河原町までを結ぶ広域農道整備事業を進めている。広域農道は、令和4年の一部完成を目指し、県西地域のかんきつ産地を貫くように整備しており、整備後には営農条件の改善のほか、国道135号線の迂回路等として多くの観光客等が当該地域に流入してくることが予想される。これら観光客をターゲットとした新たな経営展開を図っていくことは、農家所得の向上や地域の活性化が期待できる。 そこで、地域における現在の経営状況を把握するとともに、観光農業等を取り入れた経営のメニュー化やシミュレーションを行い、広域農道整備後を見据えた新たな経営モデルを検討願いたい。経営モデルは生産者が容易に取り組めるような現実的なものとし、地域の生産者に提案できるようなものをお願いしたい。 なお、広域農道の一部完成が3年後に迫っていることから、できるだけ迅速に検討、提案願いたい。	
解決希望年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考 当所では、すでに広域農道を活用した活性化策について検討を開始しており、地元との意見交換も始めていることから、当所と連携のうえ、取り組むようお願いしたい。 (参考：小田急電鉄（株）と連携し、地域資源を活かした体験イベント等も実施している。)	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	企画経営部
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) Ⅷ－1(2)地域の農業条件を踏まえた担い手の成立要因の解明 イ 類型別の担い手の成立要因の解明			
対応の内容等 平成30年度に県西地域の農業の担い手に関する調査、分析を行っています。その結果、販売金額規模を縮小している経営体が多いなか、拡大している経営体には、観光農園などの生産関連事業への取り組み、野菜類やみかん以外の柑橘の栽培等がみられました。そこで、R1年度の課題では、販売金額規模を拡大している経営体を参考に、観光農園等の生産関連事業を主体とする経営についてモデル化に取り組んでおります。 貴所が進めておられます広域農道整備事業は、県西地域の観光農園経営に大きく影響するものと期待しています。 そこで、上記モデル化にあたっては、ご要望頂きましたとおり、広域農道整備後を想定し、地域の生産者に提案できるよう取り組みます。なお、調査に当たっては、情報提供等ご協力お願い致します。			
解決予定年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			